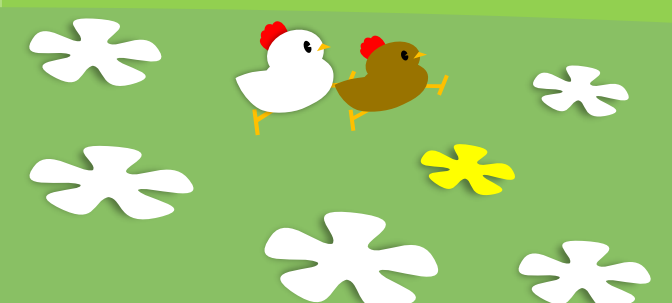
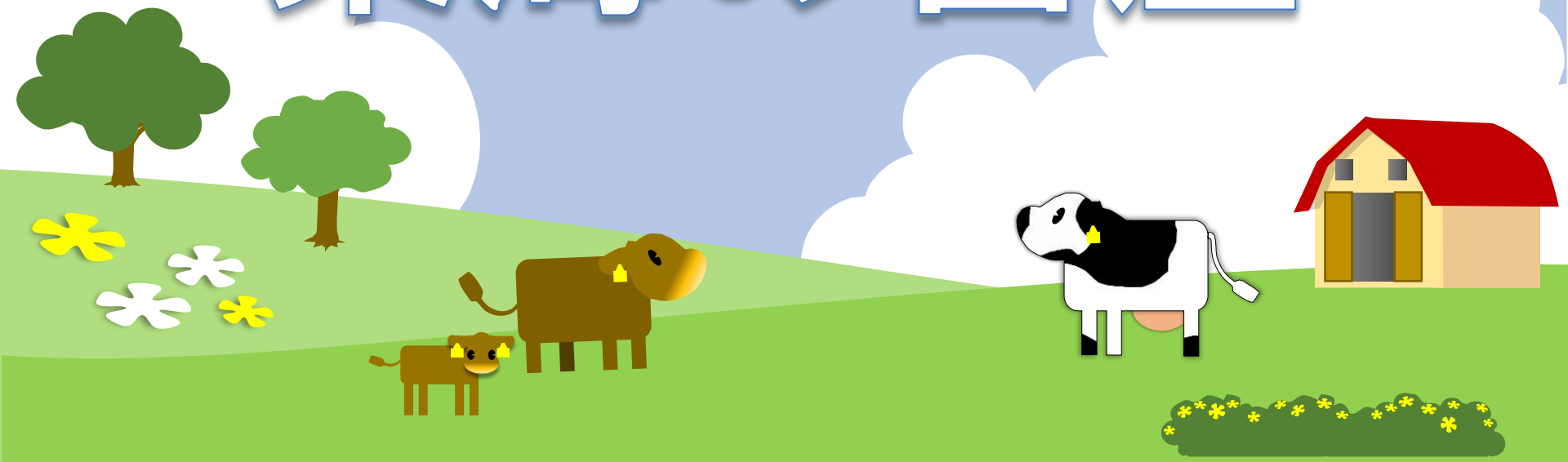
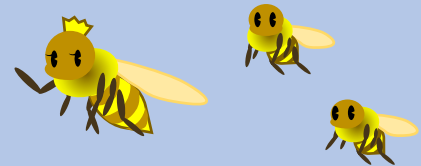
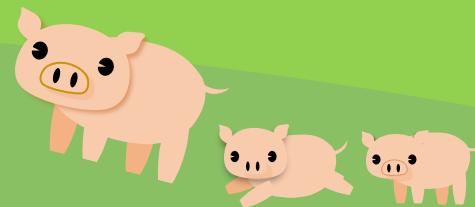


東海の畜産



令和8年3月
農林水産省
東海農政局
生産部畜産課



目次

[1. 東海の農業・畜産の概要](#)

[2. 乳用牛](#)

[3. 肉用牛](#)

[4. 豚](#)

[5. 採卵鶏](#)

[6. うずら](#)

[7. 肉用鶏](#)

[8. 飼料](#)

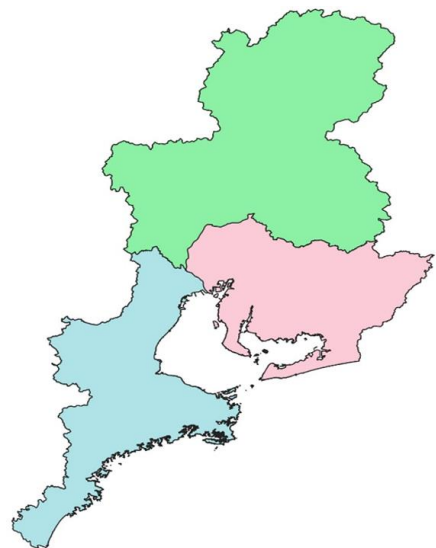
[9. 養蜂](#)

[10. 競馬（概要）](#)

[11. 畜産物の輸出](#)

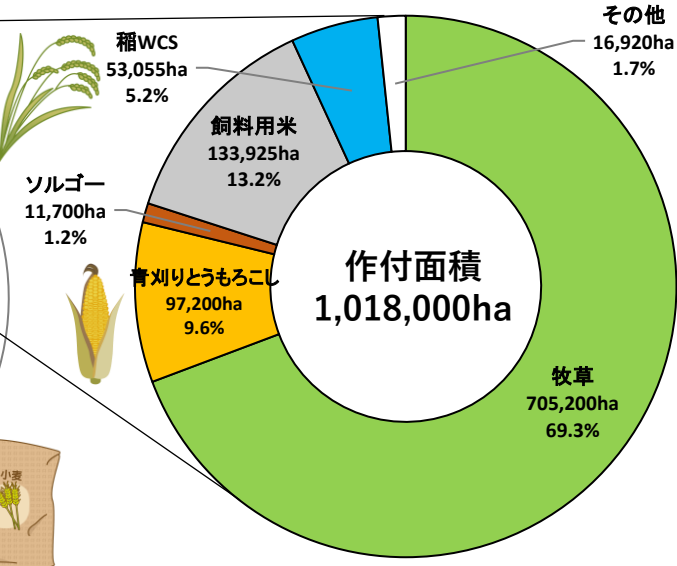
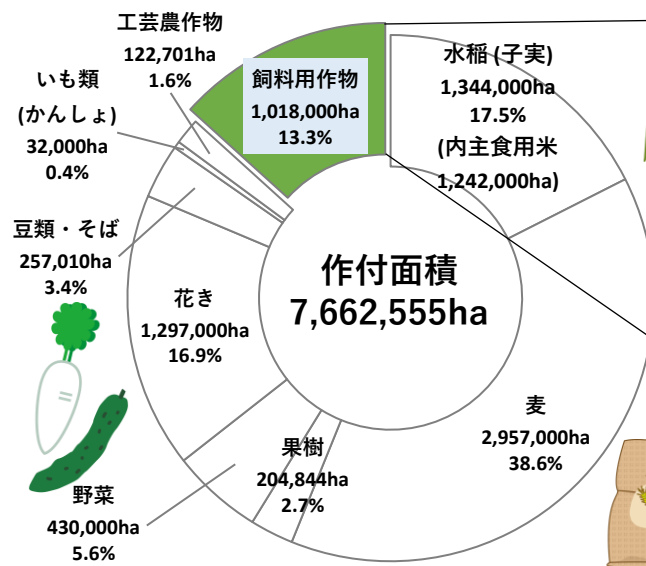
○利用上の注意

- ・ 東海（地域）：岐阜県、愛知県、三重県
- ・ 統計数値については、表示単位未満を四捨五入したため、合計値と内容の計が一致しない場合がある
- ・ 各項目番号を押していただくと、該当ページに飛ぶことができますのでご活用ください



8. 飼料

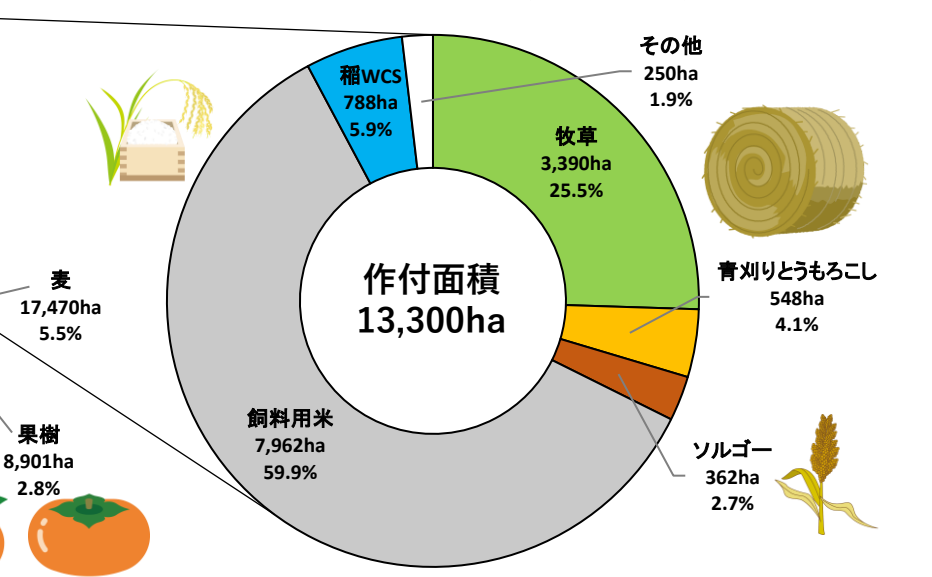
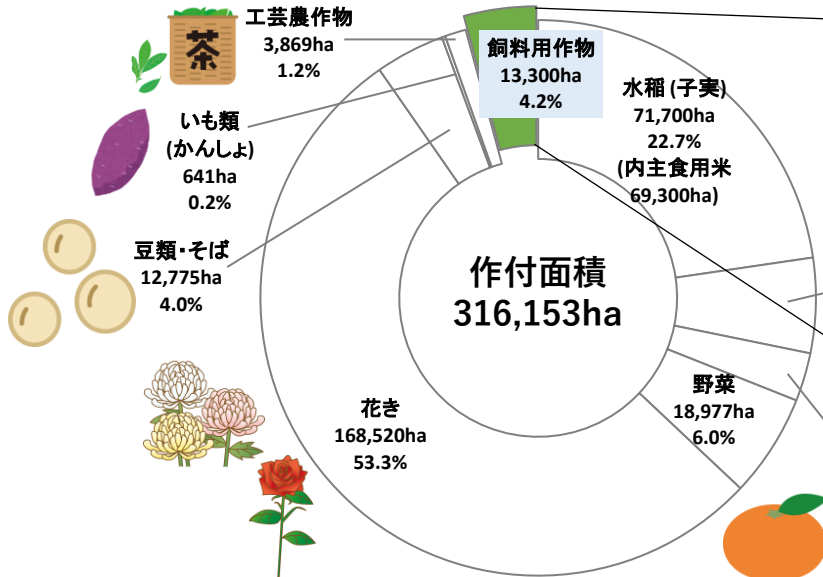
○作物別作付面積（全国）【令和5年産】 ○飼料作物種類別作付面積（全国）【令和5年産】



- ・ 全国の作物別作付面積と比較すると東海地域では、**花き**の割合が高い
- ・ 飼料作物種類別作付面積は、全国では**牧草**の割合が高くなっているが、東海地域では、**飼料用米**が半数以上を占めている

注：果樹及び工芸農作物の茶は令和2年、花きは令和4年、豆類の小豆、いんげん、らっかせい、工芸農作物のこんにゃくいもは令和6年のデータを使用している

○作物別作付面積（東海地域）【令和5年産】 ○飼料作物種類別作付面積（東海地域）【令和5年産】

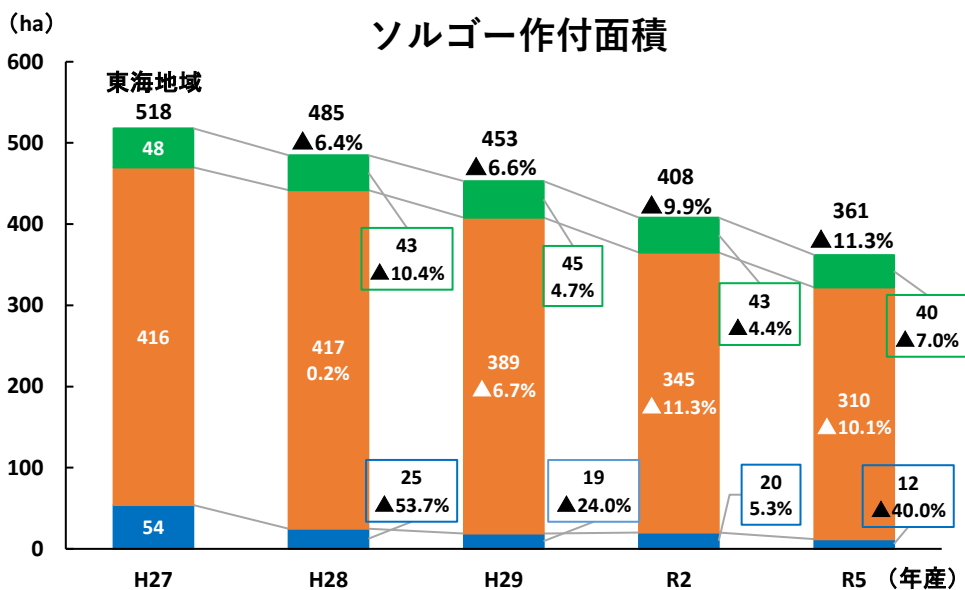
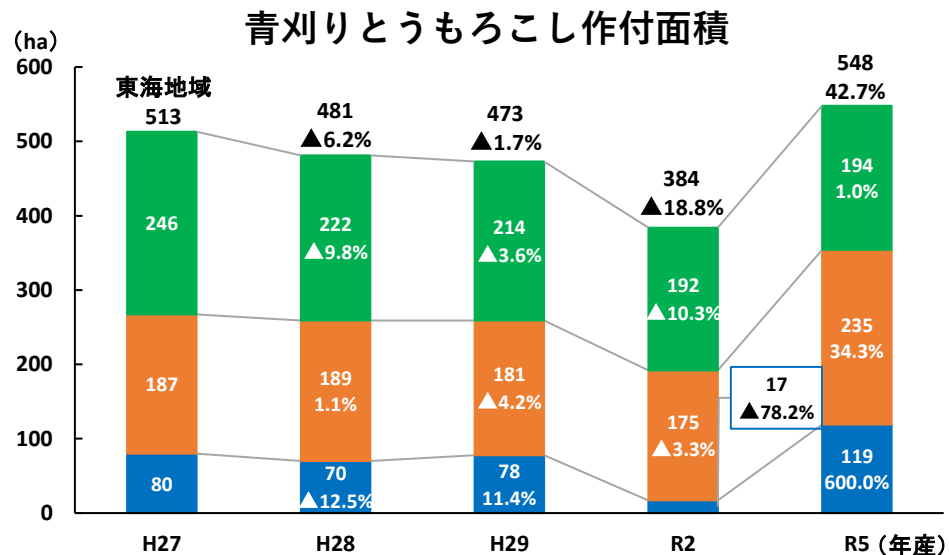
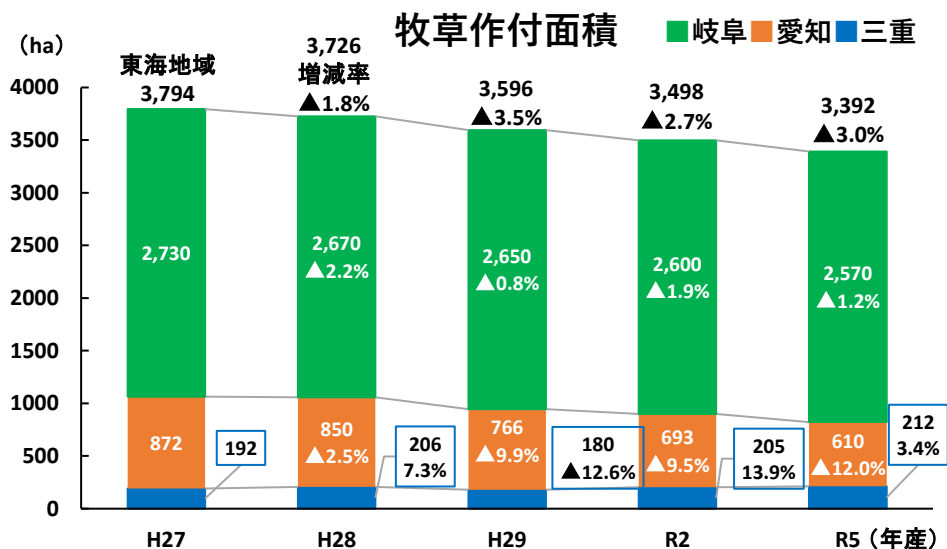


参考資料：農林水産省「作物統計調査」（作付面積調査の時期は、作物ごとに異なる）



8. 飼料

○飼料（牧草・青刈りとうもろこし・ソルゴー）の作付面積推移



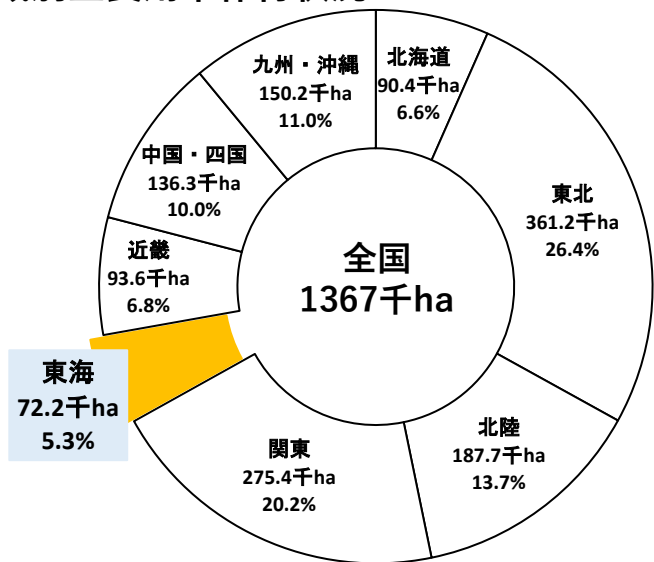
- ・ 牧草及びソルゴーの作付面積は年々減少している
 - ・ 青刈りとうもろこしの作付面積は東海地域として令和2年まで年々減少していたが、令和5年は増加した
 - 令和2年は、7月に発生した豪雨や9月に発生した台風10号により、飼料作物にも被害が生じたと考えられる
- (参考資料：農林水産省「第3節 令和2年度の自然災害からの復旧」
農林水産省「令和2年台風10号に関する情報」)
- ・ 牧草及び令和2年までの青刈りとうもろこしの作付面積は、東海地域の中で岐阜県が一番多い
 - ・ 東海地域におけるソルゴーの作付面積は、愛知県が大部分を占めている



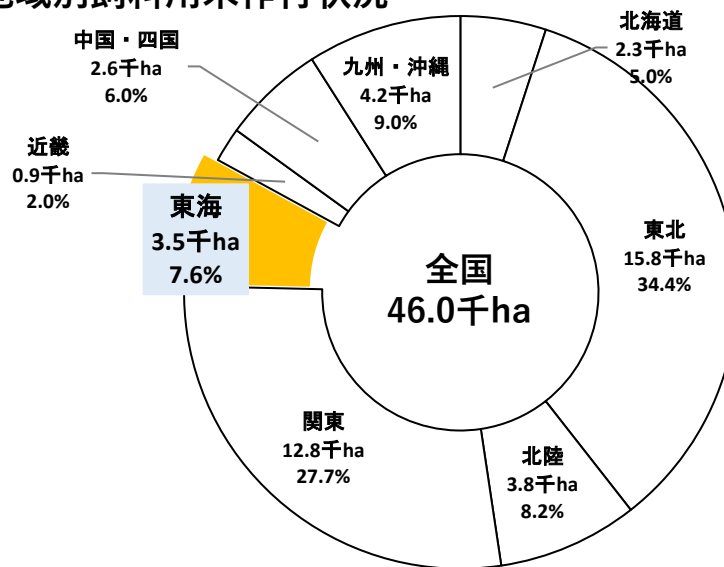
8. 飼料 <主食用米・飼料用米・WCS用稲>

○令和7年産の水田における作付状況【令和7年9月15日時点】

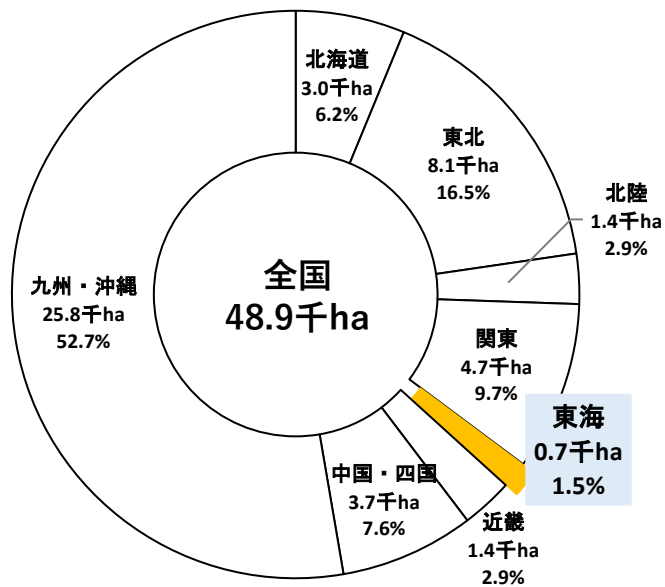
○地域別主食用米作付状況



○地域別飼料用米作付状況



○地域別WCS用稲作付状況

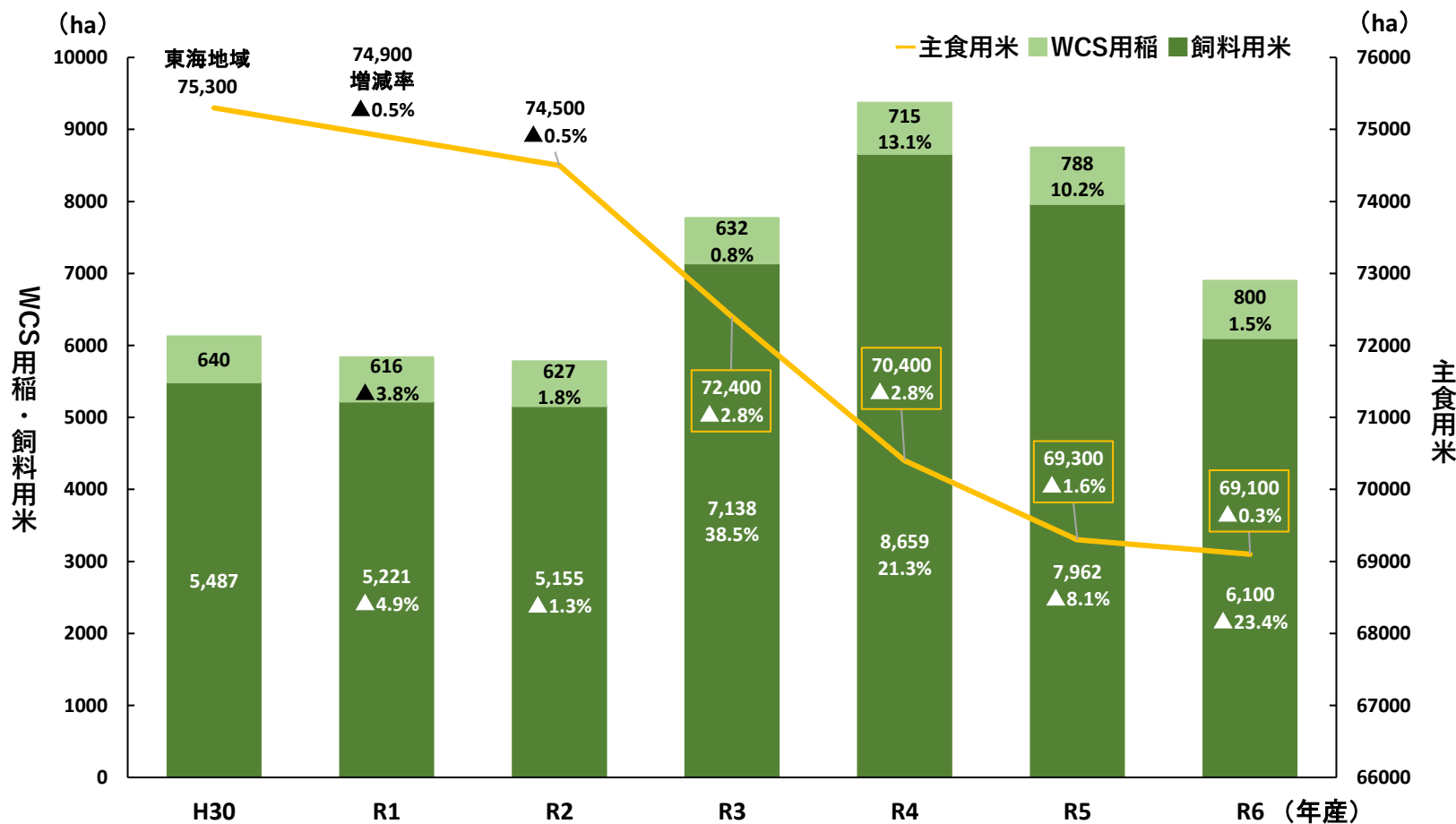


・令和7年9月15日時点の全国に占める東海地域の作付状況の割合は、主食用米（5.3%）と比較して飼料用米（7.6%）のほうが高い



8. 飼料 <主食用米・飼料用米・WCS用稲>

○東海地域での水田における作付状況【各年9月15日時点】



・令和3年から**主食用米**の作付面積が**減少**しており、それに伴い**飼料用米**の作付面積が**増加**したが、令和5年及び令和6年は**減少**に転じている
 →令和6年、6月下旬から7月中旬にかけての**断続的な日照不足**、8月以降の**記録的な高温**等が影響

(参考資料：農林水産省「作物統計調査 令和6年産水稻の作付面積及び10月25日現在の予想収穫量 (令和6年11月19日公表))



9. 養蜂

○飼育戸数及び蜂群数の全国順位【令和7年1月1日時点】

・飼育戸数 (単位：戸)

順位	都道府県	飼育戸数
1	長野	569
2	千葉	494
3	静岡	474
4	福岡	444
5	岐阜	443
6	岡山	409
7	群馬	401
8	埼玉	386
9	広島	386
10	愛知	379
⋮		
29	三重	198
⋮		
	合計	12,150
	平均	259

・蜂群数 (単位：群)

順位	都道府県	蜂群数
1	沖縄	23,257
2	長野	16,992
3	千葉	13,711
4	熊本	13,698
5	鹿児島	12,911
6	福岡	10,426
7	和歌山	10,329
8	福島	9,622
9	埼玉	7,854
10	広島	6,577
⋮		
12	岐阜	6,298
⋮		
20	愛知	4,865
22	三重	4,631
⋮		
	合計	241,805
	平均	5,145



・飼育戸数及び蜂群数は東海地域の中でいずれも**岐阜県**が一番多い
 ・特に**岐阜県**及び**愛知県**の飼育戸数は、**全国TOP10**入りしている

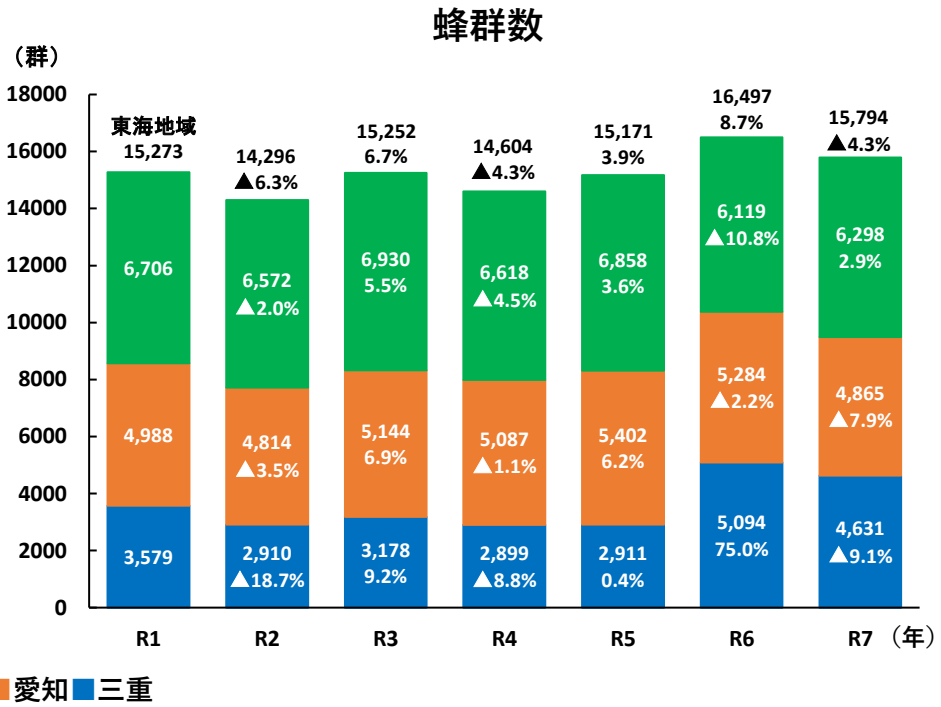
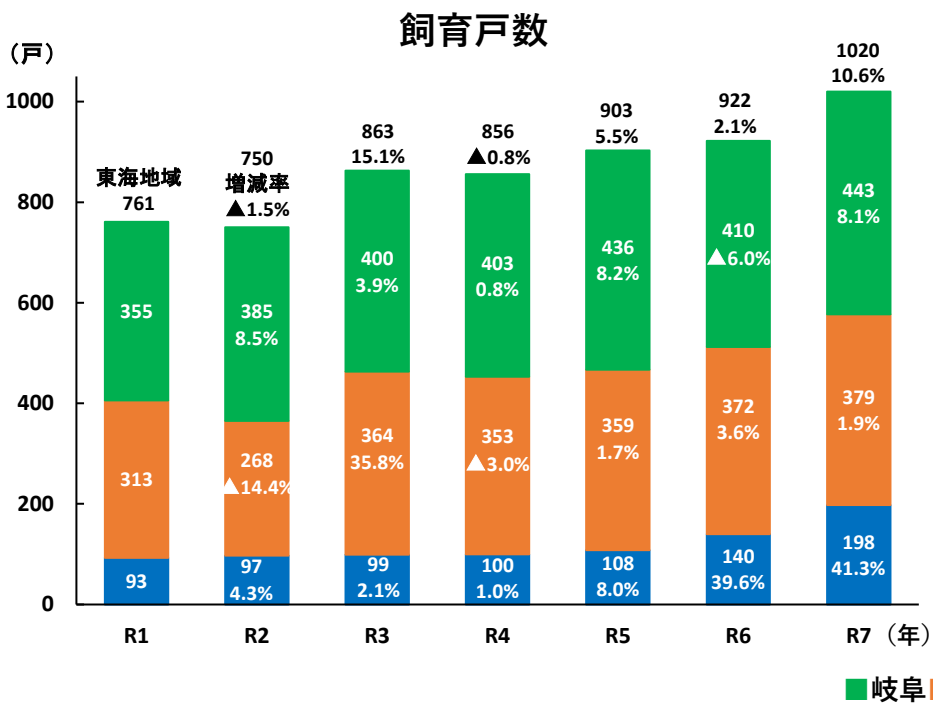


参考資料：農林水産省 畜産局畜産振興課調べ（各都道府県からの聞き取り）



9. 養蜂

○飼育戸数及び蜂群数の推移【各年1月1日時点】



- ・ 飼育戸数は年々**増加**している
- ・ 蜂群数は、年によって若干の変動があるが、ほぼ**横ばい**で推移している



参考資料：農林水産省 畜産局畜産振興課調べ（各都道府県からの聞き取り）
各県の数値は、各県からの報告を基に作成されたものであり、
各年次の統計データの連続性については留意されたい



9. 養蜂

○蜂蜜・蜜ろう・ローヤルゼリー生産量の全国順位【令和6年1月～12月】

・蜂蜜（単位：kg）

順位	都道府県	生産量
1	北海道	356,397
2	熊本	244,170
3	秋田	229,055
4	長野	218,813
5	青森	134,321
6	和歌山	115,896
7	愛知	100,463
8	静岡	92,309
9	福岡	89,468
10	愛媛	85,215
⋮		
16	岐阜	52,836
⋮		
31	三重	20,426
⋮		
	合計	2,618,158
	平均	60,887

・蜜ろう（単位：kg）

順位	都道府県	生産量
1	北海道	3,660
2	山形	1,000
3	秋田	839
4	福岡	770
5	兵庫	717
6	滋賀	668
7	三重	403
8	岐阜	390
9	愛知	358
10	埼玉	317
⋮		
	合計	11,906
	平均	331

・ローヤルゼリー（単位：kg）

順位	都道府県	生産量
1	岡山	1,800
2	愛知	174
3	沖縄	113
4	滋賀	83
5	青森	36
6	宮城	32
7	岩手	30
8	静岡	22
9	栃木	11
10	長野	10
⋮		
21	三重	0
-	岐阜	-
⋮		
	合計	2,349
	平均	76

- ・蜜ろう生産量は、東海地域の3県とも**全国TOP10**入りしている
- ・蜂蜜生産量及びローヤルゼリー生産量は、いずれも**愛知県**が**TOP10**入りしている

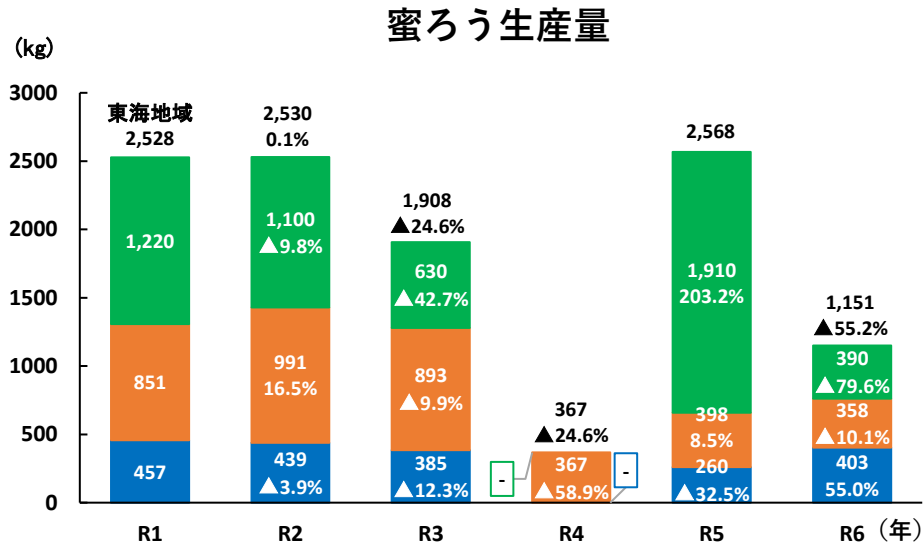
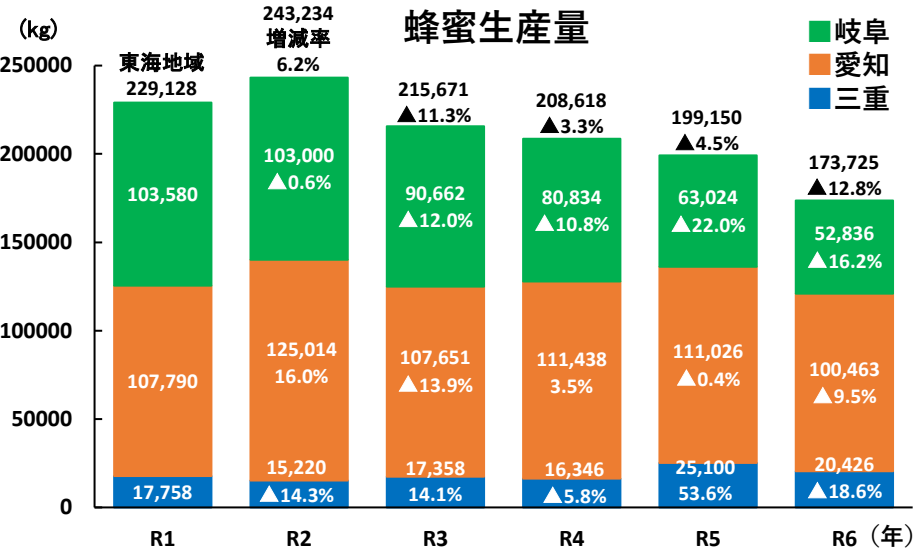


参考資料：農林水産省 畜産局畜産振興課調べ（各都道府県からの聞き取り）

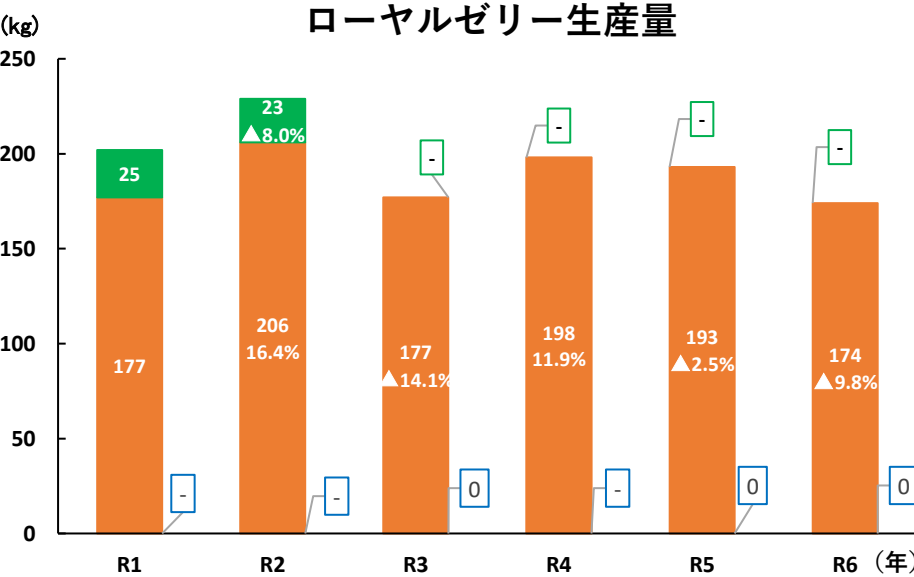


9. 養蜂

○蜂蜜・蜜ろう・ローヤルゼリー生産量の推移【各年1月～12月】



※岐阜県と三重県：令和4年度は未調査(-)
 (令和4年から令和5年にかけての増減率は示していない)



※岐阜県：令和3年度～令和6年度まで未調査(-)
 三重県：令和1、2、4年は未調査(-)

- ・蜂蜜生産量は、令和2年で若干増加しているが、以降は年々減少している
- ・蜜ろう生産量は、未調査の年もあるが、年により生産量に大きな変動がある
- ・ローヤルゼリー生産量は、未調査の年もあるが東海地域の内、愛知県がほとんどを占めている

参考資料：農林水産省 畜産局畜産振興課調べ（各都道府県からの聞き取り）
 各県の数値は、各県からの報告を基に作成されたものであり、
 各年次の統計データの連続性については留意されたい



9. 養蜂 <用語解説>

○蜂群…女王蜂1匹と約2万匹の働き蜂で構成された巣箱1箱のこと

参考：農林水産省「養蜂をめぐる情勢（令和7年11月）」

○日本の主な蜜源植物…ウンシュウミカン、ソバ、ニセアカシア、リンゴ、レンゲなど
ほかにも多種多様の植物がある

参考：一般社団法人日本養蜂協会「日本の主要蜜源植物」

○蜂蜜…蜜蜂が吸い取った花蜜を、巣房の壁に貼り付け、翅で風を起こし水分を蒸発させたもの。
この時、蜜蜂の唾液に含まれる転化酵素が花蜜に混ぜられ、主成分であるショ糖が
果糖とブドウ糖に分解される。水分量が20%程度になると“蜜ろう”で軽くふたをする
主な用途：薬用、食用

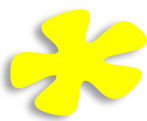
○蜜ろう…蜜蜂が蜂蜜を食べ、腹部にある蠟腺から蠟を分泌し、大あごでこねたもの。
六角形の部屋（巣房）は蜜ろうで作られており、蜜ろうを作るためには約10倍の
蜂蜜が必要である。

主な用途：ろうそく、化粧品、離型用剤など

○ローヤルゼリー…極めて若いメスバチが花粉や花蜜、蜂蜜を食べ、唾液腺で生合成を行い、
あごの外分泌腺から出す酸味のあるクリーム状の物質。女王蜂にとっての
唯一無二の食物であり、これを食べることにより、自分と同じ重さの卵
（約1500～2000個）を毎日産み続けられる。

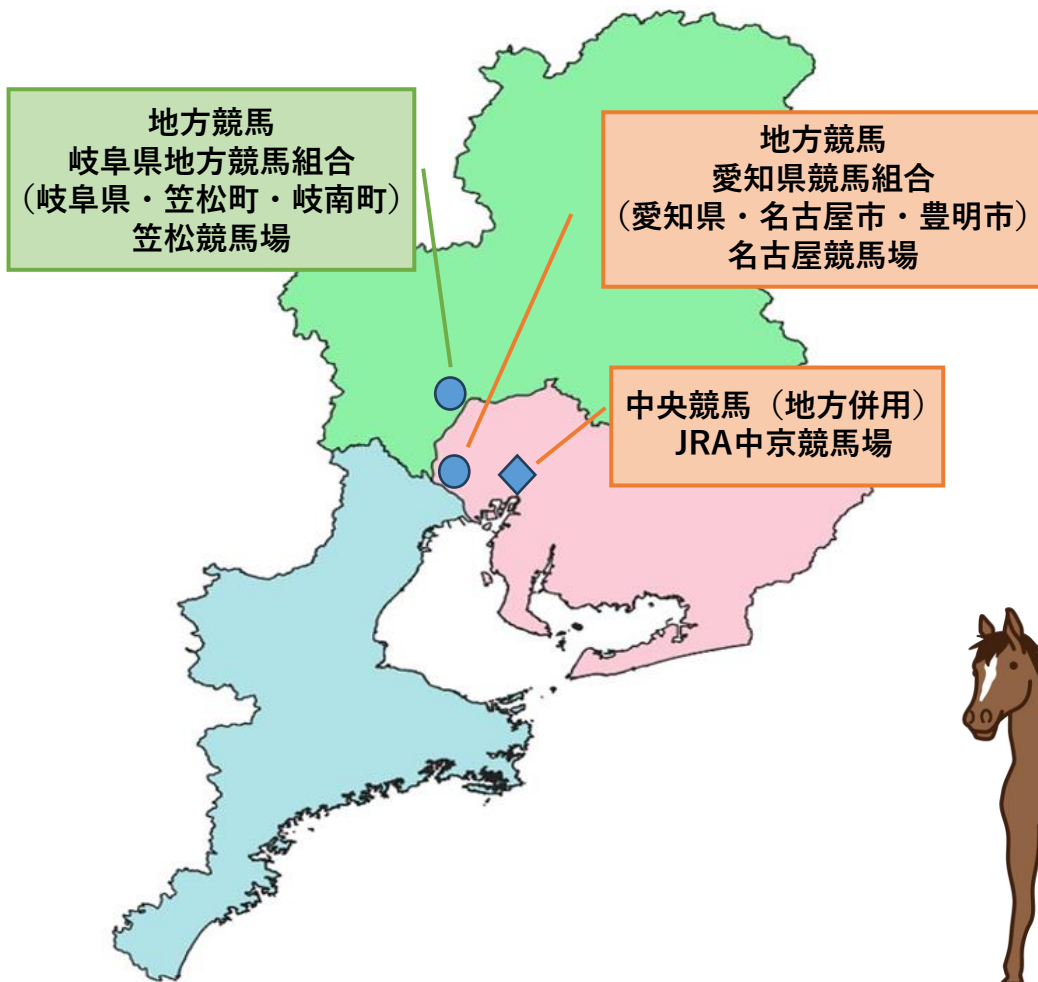
主な用途：栄養補助食品

参考：一般社団法人日本養蜂協会「ミツバチ産品」



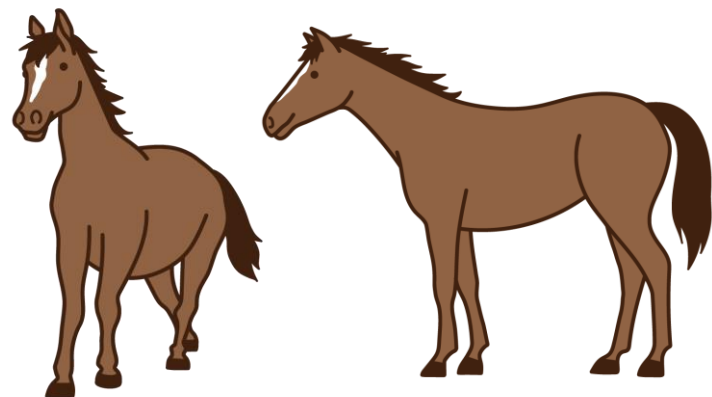
10. 競馬

○東海管内の競馬場配置図



○東海管内には3か所の競馬場があり、2か所では地方競馬が、1か所では中央競馬（地方併用）が行われている

○競馬についてさらに知りたい方は農林水産省「競馬」をご覧ください。



参考資料：農林水産省「競馬場の全国分布」（令和7年4月1日現在）

11. 畜産物の輸出 <牛肉>

○東海管内の輸出認定施設

☆畜産物の輸出については、動物検疫所による輸出検疫のほか、輸出先相手国においては施設認定や認定施設でのと畜・解体、衛生証明書の添付等の輸出条件を定めていることがある

★飛騨食肉センター (①)

飛騨ミート農業協同組合連合会

- ・北米：アメリカ合衆国、カナダ
- ・中南米：アルゼンチン、メキシコ
- ・大洋州：オーストラリア、※ニュージーランド
- ・アジア：シンガポール、タイ、フィリピン、台湾、香港、ベトナム、ミャンマー、マカオ
- ・欧州：EU

★：と畜場

下段：食肉処理場

○岐阜県：世界各地へ牛肉を輸出できる認定施設を所有

○愛知県と三重県：輸出認定施設はアジアに絞られており、愛知県は特にアジアの各国へ輸出可能

★名古屋市南部と畜場 (②～⑧)

★：と畜場

下段(番号)：食肉処理場

②杉本食肉産業株式会社 南部市場工場

・ベトナム、ミャンマー、マカオ、タイ

③株式会社 建部食肉産業 港工場

・ベトナム、ミャンマー、マカオ、タイ

④IHミートパッカー株式会社名古屋ミートセンター

・ベトナム、タイ

⑤中日本フード株式会社 物販事業部 国内ビーフ部

・ベトナム、マカオ、タイ

⑥JA全農ミートフーズ株式会社 中部営業本部 名古屋工場

・ミャンマー、マカオ、タイ

⑦JAあいち経済連 名古屋ミートセンター

・マカオ、タイ

⑧公益財団法人名古屋食肉公社

・タイ

★東三河食肉流通センター (⑨)

愛知県経済農業協同組合連合会 東三河ミートセンター

・マカオ

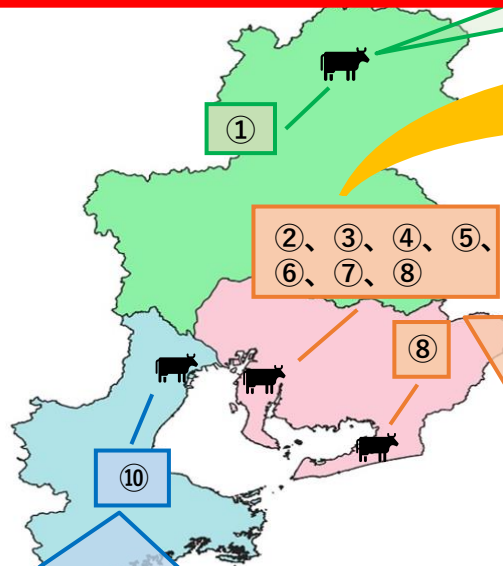
★四日市市食肉センター (⑩)

株式会社三重県四日市畜産公社

・マカオ

★：と畜場

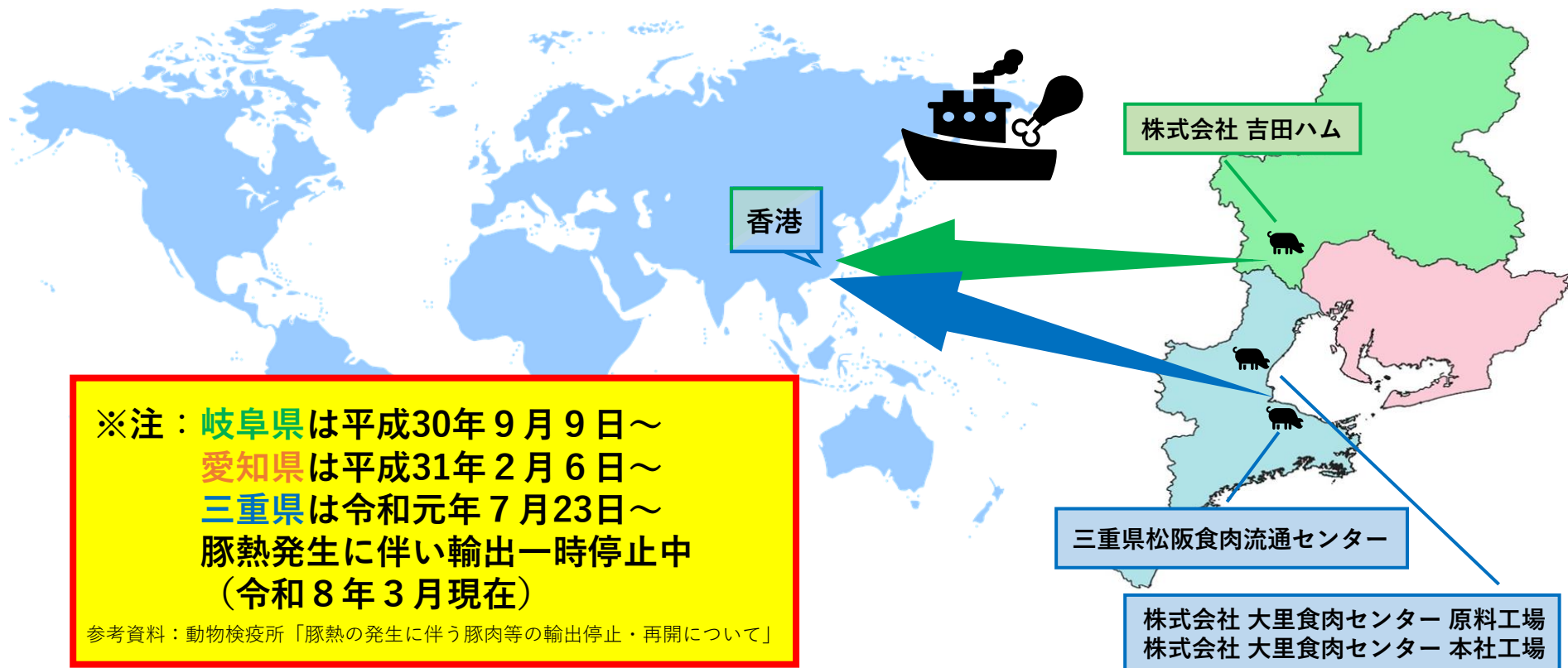
下段：食肉処理場



11. 畜産物の輸出 <豚肉>

○東海管内の輸出認定施設

- ・豚肉の輸出認定施設は、アジア内でも香港のみである
- ・牛肉と比較して認定施設は少ない



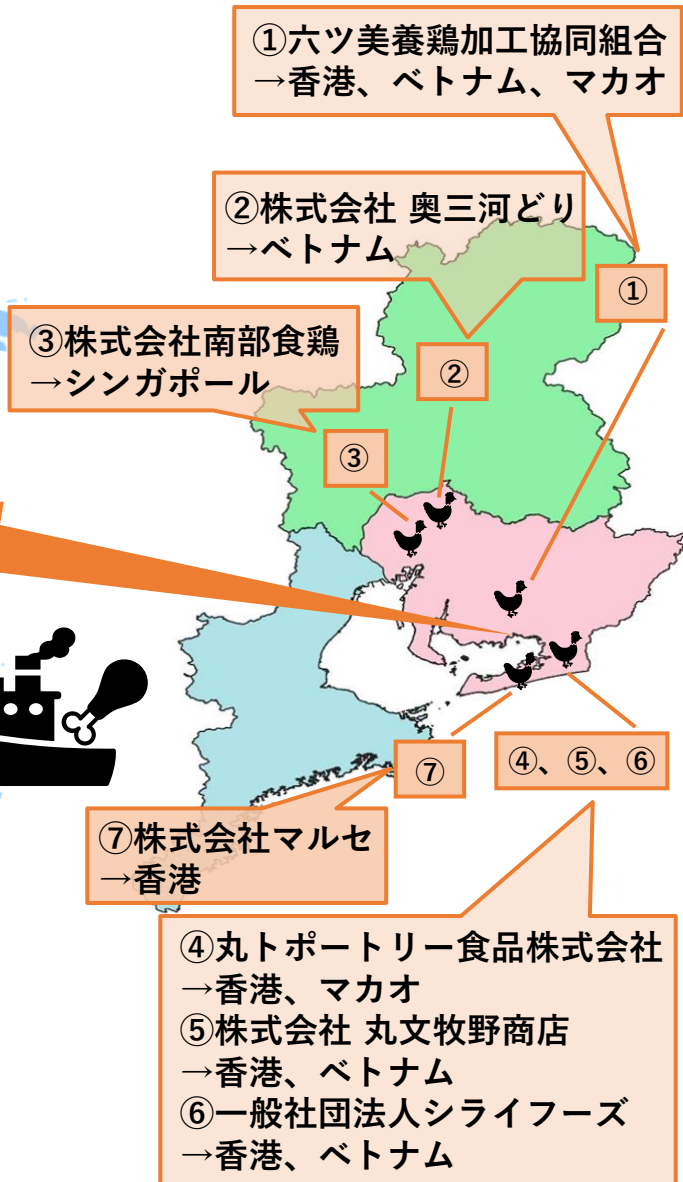
※注：岐阜県は平成30年9月9日～
愛知県は平成31年2月6日～
三重県は令和元年7月23日～
豚熱発生に伴い輸出一時停止中
(令和8年3月現在)

参考資料：動物検疫所「豚熱の発生に伴う豚肉等の輸出停止・再開について」

11. 畜産物の輸出 <家きん肉>

○東海管内の輸出認定施設

- ・東海地域で、家きん肉の輸出認定施設があるのは**愛知県**のみ
- ・**アジア各国**への輸出が可能（右図参照）



★我が国において高病原性鳥インフルエンザの発生に伴い、発生都道府県で生産及び処理されたものは、各輸出先国の受け入れ条件により、輸出の停止もしくは一部制限

・輸出停止や一部制限の詳細は以下を参照してください。
動物検疫所「鳥インフルエンザの発生に伴う家きん肉・家きん卵の輸出停止・再開について」

11. 畜産物の輸出 <殻付き家きん卵>

○東海管内の輸出認定施設

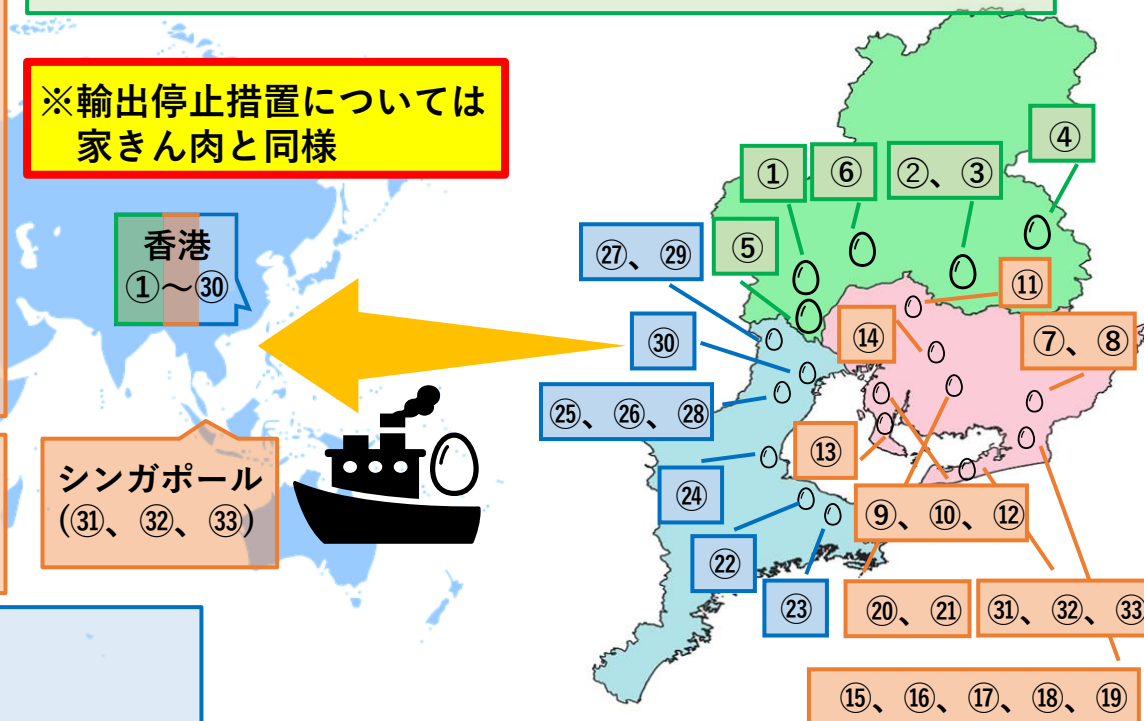
- ⑦丸ト鶏卵販売株式会社 本社工場
- ⑧有限会社 鈴木養鶏場
- ⑨株式会社 小川屋GPセンター
- ⑩有限会社 花井養鶏場
- ⑪株式会社 クレスト 大草GPセンター
- ⑫株式会社 半田ファーム 半田GPセンター
- ⑬有限会社 知多エッグGPセンター
- ⑭こはくファーム
- ⑮三栄鶏卵株式会社 豊橋G.Pセンター
- ⑯有限会社 富田養鶏場GPセンター
- ⑰株式会社 ジェイエイ東三河ジーピーセンター
- ⑱株式会社 イラコファームGPセンター
- ⑲豊橋養鶏農業協同組合 GPセンター
- ⑳三栄鶏卵株式会社 G.Pセンター
- ㉑株式会社 太田商店 たまご工場

- ⑳三栄ファーム株式会社 渥美農場
- ㉑三栄ファーム株式会社 渥美農場第2農場
- ㉒三栄ファーム株式会社 豊橋第1農場

- ㉓株式会社 グリーンファーム
- ㉔株式会社 地主協和商会 本社GPセンター
- ㉕ヤマギシGPセンター
- ㉖有限会社 スズランファーム
- ㉗株式会社 坂口商店
- ㉘たまご&ファーマーズ株式会社 伊賀パッキング工場
- ㉙株式会社 室善
- ㉚伊賀産業株式会社
- ㉛三昌鶏卵株式会社

- ①西美濃鶏卵販売農業協同組合GPセンター
- ②アイ・ティー・エスファーム株式会社中部事業所 GPセンター
- ③株式会社 クレスト 瑞浪GPセンター
- ④株式会社 ダイシンエッグ 中津川GPセンター
- ⑤株式会社 南濃鶏卵GPセンター
- ⑥株式会社 美和ふ卵場

※輸出停止措置については
家きん肉と同様



・牛肉、豚肉、家きん肉と比較すると
より多くの会社が認定を取得している
・香港とシンガポールへ輸出ができる

参考資料：動物検疫所「家きんの畜産物の輸出」